

新たな時代に



会長 木暮 治一（渋川市長）

本協議会は、合併をした場合のまちづくり、住民負担、行政サービスなどがどうなるのかについて審議し、その協議内容を合併についての判断材料として住民の皆様へ提供するという、重要な役割を担う協議会であります。

社会全体が大きな転換期をむかえる中、子や孫の世代のために、この渋川地区全体の将来を見据えて真剣に議論を深めていく必要があります。この「協議会だより」による皆様への情報提供とともに、皆様からのご意見ご要望をうかがいながら、より良いまちづくりにつなげて行きたいと考えます。今後ともご協力をよろしくお願い申し上げます。

副会長 永井 良一（赤城村長）

長引く景気の低迷のもと、少子・高齢化の現象が急速に進み、国も地方自治体も多大な借金を抱える中、社会の構造改革や行財政改革が叫ばれています。

「税金を負担する人が減少し、税金などのお世話になる人が増加する」という状況のもとで、住民の福祉や教育・環境など、行政サービスをいかに充実していくのかが問われています。

行政コストの縮減を図り、新たな「まちづくり」、「地域づくり」を目指す市町村合併は今日的な最大課題であると思います。

住民の意向を尊重しながら、関係市町村間で十分な協議を進め方向づけをしていく所存でありますので、関係する皆様方のご理解とご協力をお願いします。



副会長 関口 俊二（伊香保町長）

近年、地方分権の推進、少子・高齢化、財政状況の著しい悪化等を背景に市町村合併の推進が様々な場面で大きく取り上げられています。

それぞれの市町村は、歴史的な経緯、文化・風土や地理的な条件等が異なっており、市町村合併は将来にわたる地域のあり方や住民生活に大きな影響を及ぼすことから、住民の考えを充分踏まえた上で、関係市町村の自主的な判断を尊重していかなければなりません。

この協議会で協議・検討された事を町民の皆様様に提供すると共に、町民の意見を集約し、将来を見つめた地域づくりに向け、町民が望む方向性を見出していきたいと考えます。